



地中熱利用システム「エスロート地中熱-水平型」の事業開始

積水化学工業株式会社の環境・ライフラインカンパニーは、地中熱利用システム「エスロート地中熱-水平型」の事業を、10月24日より開始します。新規に開発した高採熱管により、地中浅層部の熱を効率的に取り出すことで、これまで一般的であった深層部の熱を回収するボアホール型に比べて採熱部の施工コストを約40%削減できます。再生可能エネルギーの一つである地中熱は、省エネルギーやCO2排出量削減に貢献することから、ZEB(ゼロエネルギービル)を目指す省エネ建築物の空調や給湯への利用など導入事例が増加しています。また、冷房時に排熱を出さず、ヒートアイランド現象を抑制できることから、都市部におけるクリーンエネルギーとしても普及が期待されています。採熱部、熱交換部(ヒートポンプ)および熱利用機器(空調、給湯)で構成されます。採熱管内を循環させる熱媒体(水・不凍液)によって、冬場は地中から熱を回収し、夏場は地中に放熱します。浅層部(地下1~10m程度)に水平スパイラル状に高採熱管を敷設します。一般的なボアホール型と比較して、採熱部の施工にかかるインシヤルコスト(材料、掘削・配管敷設費)の約40%削減が可能となります。

情報提供: 積水化学工業

パナソニック、注目の還元水素水生成器にビルトイン型追加

パナソニックは12月1日、シンク下に置けるビルトイン方式の「還元水素水生成器」(TK-HB50-S)を発売する。還元水素水(アルカリ性電解水)とは、電気分解の電極反応で還元され、そのときに発生する水素を含んだアルカリ性の飲用可能水のこと。胃腸症状の改善に役立つとして注目を集めているという。新製品は、「水素チャージモード」で電解しにくい水質をしっかりと電解し水素を発生。業界最高レベルの浄水性能により、カルキや濁りなどJIS規格指定13物質および浄水器協会自主基準4物質を除去する。シンク下に設置できるため、据え置き型よりもシンク周りをすっきりとさせることができる。15万8000円(取り付け工事が必要)。

情報提供: 新建ハウジング

朝日ウッドテック、マンション用の直貼り防音フローリング

朝日ウッドテックは11月1日、厚さ1.5ミリの無垢材挽き板を表面に使ったマンション用の複合フローリング「LiveNaturalプレミアムL45」を発売する。遮音性能L45をクリア、床暖房にも対応する寸法安定性を実現。コンクリートスラブ上に直接施工できる直貼り仕様とした。ハードメイプル、ブラックウォルナットなど4樹種。12.7x14.5x909ミリ。7万4000円~(約1坪入り、24枚/梱包)。

情報提供: 新建ハウジング

YKKAPの「APW330防火窓」、商品アイテムを拡充

YKK APは、国土交通大臣認定防火設備の「APW330防火窓」のラインアップを現在の6商品から14商品に拡充。10月27日から順次発売する。「APW330防火窓」は耐火/準耐火建築物に対応し、スリムなデザインが特徴。樹脂フレームとLow-E網入り複層ガラスを組み合わせることで熱貫流率2.33W/(m²・K)以下を実現し、省エネ建材等級の最高等級に適合する。今回追加するのは、片上げ下げ窓(単体・面格子付き)、電動シャッター付き引き違い窓、開き窓テラス、FIX窓(テラスサイズ)など。

情報提供: YKK AP

平成26年度「長期優良住宅化リフォーム推進事業」の追加公募に関する情報提供について

平成26年度「長期優良住宅化リフォーム推進事業」の公募予定について、情報提供いたします。本事業は、インスペクション、性能の向上のためのリフォーム等による住宅ストックの長寿命化を図る優良な取り組みに対し、国が費用の一部を補助する制度です。今年度においては4月~5月に評価基準型(1)[補助上限額100万円/戸]及び提案型を、7月~8月に評価基準型(2)[補助上限額200万円/戸]の公募を行いました。この度、11月上旬を目処に下記の通り追加公募をすることになりましたので、事前に情報提供いたします。公募内容は1.評価基準に基づく長期優良住宅化リフォーム、2.補助率1/3、上限100万円/戸(但し全ての評価項目において新築の長期優良住宅と概ね同程度の水準を満たす場合は上限200万円/戸)、対象住宅が既に確定しており、かつ平成26年度内に工事着手できる住宅である。公募開始は11月上旬を目処に開始する。

情報提供: 国土交通省